

新型コロナウイルス感染症対策に係る  
熊本県リスクレベルについて

県内の感染状況を踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、熊本県リスクレベルは、レベル2とします。

## 【概要】

## 1 県内の感染状況

指標	時点・期間	数値
最大確保病床使用率(使用数)	3月16日(水)	37.0% (305名)
新規感染者数	3月10日(木)~3月16日(水)	4,231名

## 2 熊本県リスクレベルについて

前回（3月11日発表）	今回（3月18日発表）
<b>レベル3</b> なお、感染状況は下げ止まりが見られる。	<b>レベル2</b> なお、感染状況は減少傾向に転じつつある。

## 3 県民の皆様へのお願い

本県においては、10歳以下の子どもの感染増加により、感染者数の増加が見られました。一方、ワクチン接種の進行により、高齢者の感染者数は減少し、病床使用率も継続して減少しています。また、直近では実効再生産数も1未満となり、感染状況が減少に転じつつあります。こうした状況から、3月16日に国に対しまん延防止等重点措置の解除を要請し、国において要請どおり3月21日をもって解除されることが決定されました。

再増加防止のためには、特に感染が増加した子どもへの対策が重要となります。春休みにも入ることから、基本的感染防止対策を特に徹底していただくようお願いします。

また、特に子どものいる家庭においては、希望する方は3回目のワクチン接種を可能な限り早く受けていただくようお願いします。

熊本県 健康福祉部健康危機管理課  
問合せ先：井上、横山、中満、浦江  
電話：096-333-2239  
(内線) 5931、5933、5934

# 熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況

【令和4年（2022年）3月18日】

## 1 熊本県における現状認識

全国的に、新規感染者数の減少傾向が継続している。国は、昨日まん延防止等重点措置の全区域の解除を行う公示を行った。したがって、全ての適用地域において、まん延防止等重点措置は3月21日で解除される。

本県の3月16日時点の入院者数は305人（最大確保病床に対する使用率：37.0%）、3月10日から3月16日までの新規感染者数は4,231人である。現状を総合的に判断し、本県のリスクレベルはレベル2に引き下げる。

本県においては、10歳以下の子どもの感染増加により、感染者数の増加が見られた。一方、ワクチン接種の進行により、高齢者の感染者数は減少し、病床使用率も継続して減少している。また、直近では実効再生産数も1未満となり、感染状況が減少に転じつつある。こうした状況から、3月16日に国に対しまん延防止等重点措置の解除を要請し、国において要請どおり3月21日をもって解除されることが決定された。

再増加防止のためには、特に感染が増加した子どもへの対策が重要となる。春休みにも入ることから、基本的感染防止対策を特に徹底していただくようお願いする。

また、特に子どものいる家庭においては、希望する方は3回目のワクチン接種を可能な限り早く受けていただくようお願いする。

前回（3/11発表）	今回（3/18発表）
レベル3 なお、感染状況は下げ止まりが見られている。	レベル2 なお、感染状況は減少傾向に転じつつある。

### [熊本県リスクレベル]

【目的】感染者数が増加に転じるタイミングを早期に捉え、警戒を発する基準を設定することで、感染拡大防止に向けた対策の徹底や県民への早期の警戒を呼び掛ける。

※あくまでも目安であり、現状がどのレベルに位置付けられるか、また、具体的な対策は、本県あるいは全国の感染状況及びその傾向（拡大・縮小）を踏まえ、実施する地域やその内容も含め、総合的に判断する。

レベル	該当する状況	本県の基準		本県で想定する対策例
		病床基準 <sup>※2</sup>	新規感染者基準 <sup>※3</sup>	
レベル4 避けたい レベル	一般医療を大きく制限しても対応困難	80% (660人)	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>国への災害医療的な対応依頼</li> <li>積極的疫学調査の重点化 等</li> </ul>
レベル3 対策強化 レベル	一般医療の制限が必要	40% (330人)	50人 (869人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワクチン・検査パッケージ制度適用の停止</li> <li>【緊急事態措置】の対策                             <ul style="list-style-type: none"> <li>-飲食店等の人数制限要請<sup>※1</sup>、休業・時短要請</li> <li>-イベントの人数制限要請<sup>※1</sup></li> <li>-県外移動は極力控える呼びかけ<sup>※1</sup> 等</li> </ul> </li> <li>【まん延防止等重点措置】の対策                             <ul style="list-style-type: none"> <li>-飲食店等の人数制限要請<sup>※1</sup>、時短要請</li> <li>-イベントの人数制限要請<sup>※1</sup></li> <li>-県外移動は極力控える呼びかけ<sup>※1</sup> 等</li> </ul> </li> </ul>
レベル2 警戒強化 レベル	感染増加傾向が見られているが、病床数を増やすことで対応できている状態	15% (124人)	10人 (174人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>飲食店を起因として県内の感染が拡大する場合、認証店以外の飲食店の時短要請<sup>※4</sup>、国へのまん延防止等重点措置要請</li> <li>国とまん延防止等重点措置要請の協議開始</li> <li>感染状況に応じ、感染不安を感じる無症状者への検査受検要請を検討</li> <li>飲食店等の人数制限要請<sup>※1</sup></li> <li>感染リスクが高い場所への外出・移動の自粛要請</li> <li>感染リスクの高い行動回避の呼びかけ</li> <li>段階的な病床の確保 等</li> </ul>
レベル1 維持すべき レベル	一般医療が確保	—	1人 (17人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的感染防止対策徹底の要請</li> <li>イベントの感染防止対策徹底等の要請</li> <li>緊急事態宣言・まん延防止等重点措置地域への移動を控える呼びかけ<sup>※1</sup> 等</li> </ul>
レベル0 感染ゼロ	新規感染者ゼロを維持	県内で継続的な感染が起こっていない状況		

(※1)ワクチン・検査パッケージ制度適用による緩和対象

(※2)最大確保病床使用率(2/18時点：825床に対する入院者数)

(※3)週の新規感染者数/人口10万人(本県人口換算)。人口は令和2年国勢調査の数値

(※4)自主的に時短に協力した認証店には協力金を支払う

(注1)病床基準と新規感染者基準を踏まえ、感染拡大傾向や他県の状況を鑑み、総合的にレベル判断を行う。

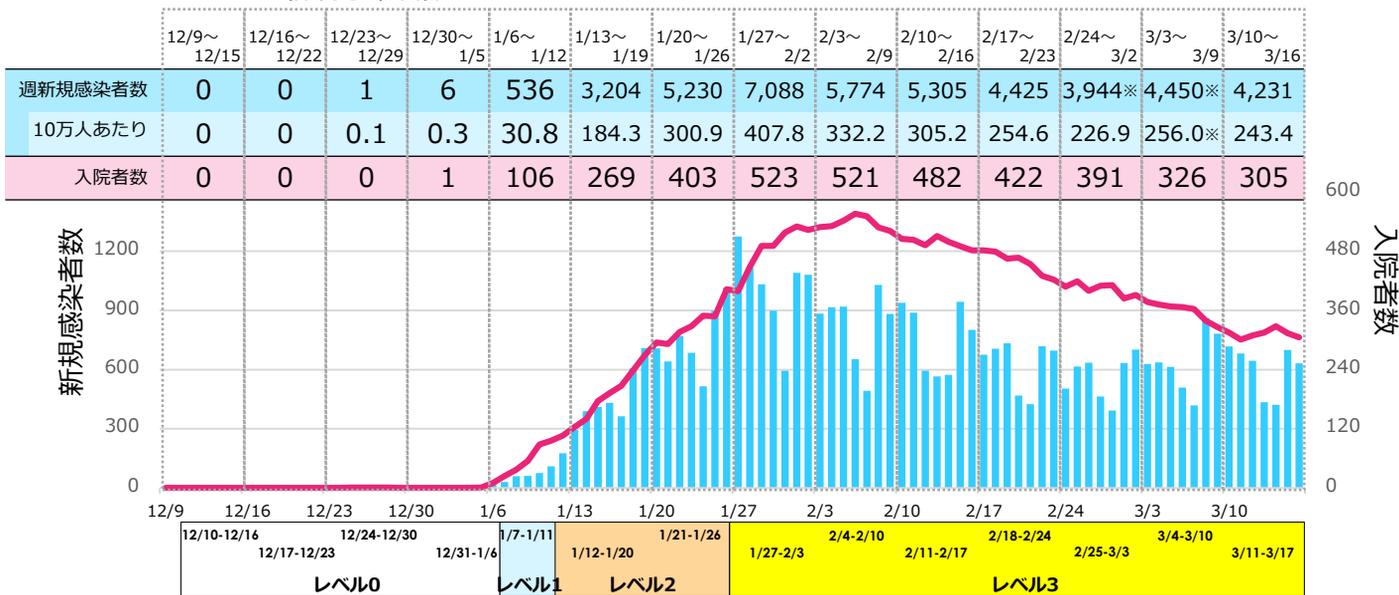
(注2)感染状況や、重症病床使用率、変異株の流行状況によっては、基準によらない判断を行うことがある。

## 2 熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (3月17日現在)

- 熊本県の3月16日時点の入院者数は305人（最大確保病床に対する使用率：37.0%）、3月10日から3月16日までの新規感染者数は4,231人である。感染者数は多い状態にあるが、オミクロン株以前の水準まで減少させることは現実的ではない。病床使用率は継続的に減少しており、先週から2週間連続して基準である40%を下回った状態である。したがって、県リスクレベルはレベル2とすることが妥当である。
- 熊本県に適用されている「まん延防止等重点措置」については、期限である3月21日をもって解除されることが決定した。
- 感染者数は依然多い状態にあるが、熊本県の感染状況には次の特徴がある。
  - ① 高齢者の感染者数は継続して減少していること
  - ② 子どもとその親世代での感染が増加していること
  - ③ 20代の感染が減少していること
- ①については、65歳以上へのワクチン接種が70%以上まで進行していることが大きな要因と考えられる。オミクロン株も、ワクチン接種がない場合、高齢者の重症化率は高い。一人でも多くの方がワクチン接種を受けることが大切である。
- ②について、最近の熊本県の感染増加は10代以下の若年齢層を中心に起こった。一般的に、感染症は集団生活をおくる子どもで拡大し、家庭内感染で地域に拡大するケースが多く、現在の熊本県もこのような状態にある地域があると考えられる。迅速な学級閉鎖等による封じ込めが基本的な対策となるが、感染性の高さから、封じ込めに時間がかかっている可能性がある。親世代がワクチン接種を済ませることは重要な対策となる。
- ③については、まん延防止等重点措置の効果が最も出ていると考えられる。20代の若者は、他の年齢階級よりも多様な感染経路を示すことが明らかにされており、感染拡大の契機となりやすいため、抑えられていることは大きな成果と考えられる。
- こうした状況から、病床使用率は一定期間減少傾向が継続することが見込まれる。また、直近で全年齢で減少が見られ始めており、全体として減少に転じつつある。このため、まん延防止等重点措置の解除や、リスクレベルのレベル2への引き下げは妥当と考えられる。ただし、韓国やシンガポールの状況を見ると、ワクチン3回目接種が進んだとしても、感染者の大きな増加は起こり得る。年度の切り替わりでは人の動きが活発になることから、感染者が増加する可能性は高い。
- 今回、国もウィズコロナの考え方を強くしている。ワクチン接種が進み、入院率が下がる見込みの中、公衆衛生対策を強める指標としては「感染者数」の重要性は下がっている。一方、対策を取らないままで感染者が増加した場合は、保健所の体制が逼迫し、結果として医療への負荷は大きくなるだろう。公衆衛生対策を再度強める条件やタイミングの考え方について、再度整理する必要があると考えられる。
- 基本的な感染防止対策を徹底したうえで、徐々に経済活動を再開していただき、可能な限り強い公衆衛生対策に至らないことが重要と考えられる。

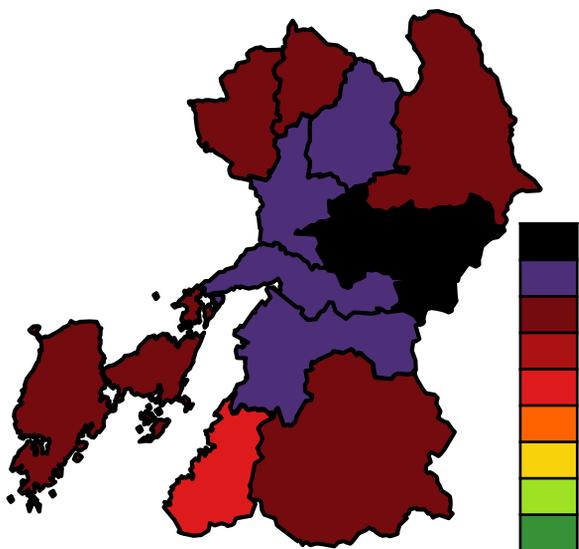
# 【熊本県における新型コロナウイルス感染者発生状況（12/9～3/16）：公表日ベース】

■ 新規感染者数      ■ 入院者数



※ 事例の取下・欠番に伴い修正

## 【保健所ごとの感染例の確認状況】



保健所名	3/10～3/16	
	新規感染者数	人口10万人※1あたり
熊本市保健所	2,099	284.1
有明保健所	227	147.5
山鹿保健所	80	163.2
菊池保健所	557	298.3
阿蘇保健所	112	190.8
御船保健所	291	354.9
宇城保健所	283	276.0
八代保健所	349	260.1
水俣保健所	14	32.2
人吉保健所	97	119.0
天草保健所	122	113.5

※1 各保健所管内の人口は、国政調査(2020年10月1日現在)に基づく

## 【医療提供体制、感染状況に関する参考指標】

医療負荷の参考指標

感染状況の参考指標

時点	重症病床 使用率 (最大確保病床)	療養者数	入院率 ※1	重症者数	中等症者数	必要病床数予測※2			検査陽性率 ※3	感染経路 不明割合	新規感染者数 今週/前週比
						1週間後	2週間後	3週間後			
						3月16日	19.1%	6,590人			
3月9日	13.2%	6,000人	5%	9人	132人	410	480	552	27.7%	33.2%	1.1
3月2日	16.2%	7,424人	5%	11人	173人	486	461	425	27.0%	34.3%	0.9
2月23日	20.6%	8,742人	5%	14人	177人	522	502	451	30.1%	27.8%	0.8
2月16日	27.9%	9,016人	5%	19人	193人	574	633	636	31.5%	27.5%	0.9
2月9日	13.2%	9,393人	6%	9人	204人	602	624	567	30.0%	31.7%	0.8
2月2日	14.7%	9,106人	6%	10人	185人	644	992	1,415	31.2%	34.8%	1.4
1月26日	8.8%	6,171人	7%	6人	124人	431	724	1,182	22.9%	34.9%	1.6

※1 療養者数が人口10万人あたり10人以上(174人)の場合に適用

※2 新型コロナウイルスの感染拡大状況とワクチン接種状況に応じた医療需要の予測ツール(国立感染症研究所)の短期予測を用い、本県のデータを用い算出(感染が急激に増加する場合は、誤差が非常に大きくなるため、ツール制作者が認める範囲内でパラメータを調整する場合がある)

※3 新規感染者数(公表日ベース)及び県内の全検査数の1週間合計より算出

※4 調査が完了した3,597名の調査結果から算出したもの。調査が完了していない事例(リンクが判定されていない)634名分は分母に含まれない。

### 3 県民の皆様へのお願い（3月22日発表）

熊本県リスクレベルは、**レベル2**です。また、感染状況は減少傾向に転じつつあります。

まん延防止等重点措置は3月21日をもって終了しましたが、  
3月22日から4月10日まで下記の対策を継続します。

## 1 基本的な感染防止対策の徹底

- ① 症状がなくとも、マスク（不織布マスクを推奨。以下同じ）着用
- ② こまめな手洗い・手指消毒、換気
- ③ 発熱時は仕事等を休み、すぐにかかりつけ医等に電話相談！

- ・「新しい生活様式」の実践をお願いします。
- ・マスク着用、手洗い、換気、人と人との距離の確保等の感染防止対策を徹底してください。
- ・帰宅直後の手洗いや入浴、発熱等の症状がある同居者と部屋を分けるなど、家庭内における感染防止対策を徹底してください。
- ・厚生労働省がリリースした接触確認アプリの積極的な利用をお願いします。



©2010 熊本県 くまモン

## 2 検査受検

### わずかでも発熱などの症状がある方

外出せず、すぐにかかりつけ医等の医療機関又は発熱者専用ダイヤルに電話相談し、受診してください。

発熱等がある場合



### 症状はないが、感染に不安を感じる方

県の登録を受けた検査機関等において無料検査が受けられる（熊本県民に限る）ため、検査を受けてください。なお、無料検査は4月10日まで期限を延長しています。

無料検査について



## 3 移動・外出

**【移動】** ・帰省や旅行等、都道府県をまたぐ移動は、「3つの密」の回避を含め基本的な感染防止策を徹底してください。

**【外出】** ・マスク着用等の感染防止対策を徹底してください。  
・感染リスクの高い「3つの密」のある場所への外出は自粛してください。

# 4 会食はリスク大！特に注意しましょう

・会食は、宅飲みを含み、感染リスクを最小化するために、下記に留意して実施してください。

- ① 「会食時の感染リスクを下げる4つのステップ」を遵守して
- ② なるべく普段から一緒にいる人と
- ③ 人数を絞って

4つのステップ



・県内全域で、深夜遅くまでの飲酒や会合など、感染拡大につながる行動を控えてください。

・感染防止対策が講じられていない飲食店は、利用しないようお願いします。

・飲食店を利用する場合、同一グループの同一テーブル使用は4人以内としてください※。 ※…認証店における会食を除く。

・花見を含む宴会等はなるべく普段から一緒にいる人と行うとともに、歓迎会や新歓コンパ等の普段一緒にいない人との会食は特に注意してください。

(注)認証店：「熊本県飲食店感染防止対策認証制度」の認証を受けた店舗

熊本県作成 会食時の感染リスクを下げる4つのステップ

飲酒を伴う懇親会や大人数での飲食、長時間におよぶ飲食等は、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高まる場合に該当しますが、様々な工夫と一人一人の心がけて、感染リスクを下げることは可能です。  
**感染リスクを下げる4つのステップをみんなで見守りましょう！**

**STEP1 予約前に下げる！**

- お店を予約する際に、感染防止対策を実施しているお店が確認しましょう。  
※ 感染防止対策を実施しているお店は、ステッカーの掲示等で確認できます。
- 同一グループの同一テーブル使用は4人以内とするようお店と相談しましょう。  
※ 認証店は除きますが、下記のような工夫で感染リスクを下げましょう。

**STEP2 会食前に下げる！**

- 発熱等の症状の有無を確認し、体調の悪い人は参加しないようにしましょう。
- 入店時に手洗いを行い、マスクを着用し、すぐに着席しましょう。

**STEP3 会食中に下げる！**

- 食事中でも、会話をする際はマスクを着用しましょう。  
※ 食事の時間と会話の時間を分けるなどの工夫が効果的です。
- 大声での会話や咳の移動は控えましょう。
- 箸やコップの使いまわしはやめましょう。
- 深酒は控えましょう。アルコールを飲みすぎた人がいたら、ソフトドリンクを勧めましょう。
- 飲酒の影響で参加者の気分が高揚し、マスク無しの会話や大声での会話が行われるなど、感染防止対策が実施されない状況になってしまったら、早めにお開きしましょう。

**STEP4 会食後に下げる！**

- 長時間かつ深夜のはしご酒は控えましょう。
- 帰宅前後の手洗いなどにより、車内などにウイルスを持ち込まないようにしましょう。
- 万が一、発熱等の症状が出た場合は、速にかりつけ医等に電話相談のうえ、医療機関を受診しましょう。また、幹事等に連絡し、参加者と情報共有しましょう。

# 5 飲食店事業者の皆様への要請

## 【感染対策】

- ・県が示した業種別の「感染防止対策チェックリスト」、国が取りまとめている感染拡大予防ガイドラインにより、十分感染防止活動を行い、それが県民に分かるよう、ステッカー等を掲示してください。
- ・同一グループの同一テーブル使用は4人以内としてください※。

## 【認証制度】

- ・感染防止対策が徹底されている「熊本県飲食店感染防止対策認証制度」をご活用ください

## チェックリスト



## 認証制度



※…認証店における会食を除く。

# 6 イベント開催

- ・県の「イベントの開催制限について」を参考とし、感染防止対策を徹底してください。
- ・参加人数は、下記の【人数上限】、【収容率】の**いずれか小さい方**に制限してください。
- ・感染防止安全計画を策定するイベントについては、イベント開催日の2週間前までを目途に県に感染防止安全計画を提出してください（大声なしの担保が必要）。
- ・感染防止安全計画を策定しないイベントでは、感染防止策チェックリストを作成し、主催者等のHP、SNSなどで公表し、イベント後1年間保存してください。

## イベントの開催制限について



	感染防止安全計画の策定あり	その他 (感染防止安全計画を策定しない)
人数上限	収容定員まで	5,000人又は収容定員50%のいずれか大きい方
収容率	100%	大声なし：100%、大声あり：50%

「大声」：通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること。「大声あり」：「大声」を積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントが該当  
詳細は熊本県HP「イベントの開催制限について」を御確認ください。

## 事業者

- ・業種別ガイドラインの遵守
- ・テレワークの推進等により出勤者削減(可能な範囲で目標を設定)への取り組み
- ・職場における感染防止のための取り組み(手洗いや手指消毒、換気励行、テレビ会議の活用、昼休みの時差取得等)の徹底

## 保育所等

- ・保育所等における感染防止のための取り組み(職員のマスク着用、手洗いや手指消毒、換気励行等)の徹底
- ・感染状況等に応じて臨時休園等の判断を速やかに行うよう市町村へ依頼
- ・保育所の保育士等に対する集中的検査の実施
- ・市町村の代替保育の実施を支援
- ・春休み期間中の放課後児童クラブの感染防止対策を市町村へ依頼

## 学校

- ・文部科学省の「衛生管理マニュアル」に基づく感染防止対策の徹底
- ・春休み期間中の家庭等での活動における感染防止対策について、児童生徒への指導や保護者への周知の徹底を依頼
- ・部活動において感染防止対策を徹底した上での活動を依頼
- ・小学校の教職員に対する集中的検査の実施

## 高齢者施設等

- ・従事者にわずかでも症状がある場合、確実に仕事を休ませる体制の構築
- ・オンライン研修等による、感染防止対策の実施
- ・高齢者・障がい者等の施設の従事者に対する集中的検査の実施

## その他

- ・保育所の保育士、小学校の教職員、高齢者施設等の従事者等が濃厚接触者になった場合に早く職場に復帰できるよう検査の実施を支援

## 県民の皆様へのメッセージ

残念ながら、感染者やその御家族、医療従事者の方々の中に、差別を受け、苦しんでいる方がおられます。新型コロナウイルス感染症には、誰もがどこでも感染する可能性があります。感染された方やその御家族、職場関係の方々に責任はありません。不当な扱いや嫌がらせ、誹謗・中傷などは絶対にないよう、お願いします。

## 熊本市の状況と対策

熊本市においても、高齢層の新規感染者数は減少していますが、子どもの新規感染者数が増加しております。

また、熊本市内の医療機関の最大確保病床使用率は改善傾向にありますが、60%程度と依然として高い水準で推移しております。

年度末が近付き、恒例行事（卒業式・歓送迎会・お花見等）に伴う会食や人の動きが増加し、感染リスクが高くなる時期となるため、引き続き感染防止対策を徹底することが必要です。

### 【対策】

- ・保健所業務の更なる体制の強化を図ります。（疫学調査・健康観察の重点化、人員や物資の確保等）
- ・その他の熊本市における取組は以下のとおりです。
  - ✓ワクチン接種の着実な実施（追加接種・小児接種等）
  - ✓保育所等・小学校・高齢者施設等の従事者に対する集中的検査 及び 同従事者が濃厚接触者になった場合の待機を早期に解除するための検査の支援
  - ✓保育所等や学習活動、部活動、児童育成クラブ等における感染防止対策の徹底
  - ✓老人福祉センター、公設公民館、地域コミュニティセンターなどの開館・利用再開（感染状況、利用態様、予約状況を踏まえて施設ごとに取り扱いを判断）
  - ✓熊本市主催のイベントにおける感染防止対策の徹底(人数やイベントの性質に応じた人数制限等)
  - ✓熊本シティFM・街中モニターを活用した感染予防策に関する広報啓発活動の実施
  - ✓さらなる病床確保に努めるとともに、医療機関と連携し、感染者が発生した高齢者施設等を訪問。感染者の診察や感染状況の把握・評価、感染拡大防止の支援を実施（人員・物品・ゾーニング等）

### 【熊本市からの要請】

- ・熊本市から熊本市民の皆様への要請は次のとおりです。
  - ✓家庭での感染防止対策を徹底してください。
    - 特に、子ども及び高齢者への感染防止対策を徹底してください。
  - ✓基本的な感染防止対策を徹底してください。（手洗い・うがい・手指消毒・換気・マスク着用）
  - ✓花見を含む宴会等はなるべく普段から一緒にいる人と行うとともに、歓迎会や新歓コンパ等の普段一緒にいない人との会食は特に注意してください。
  - ✓「熊本県飲食店感染防止対策認証制度」を活用してください。
  - ✓職場において、業種別ガイドライン等を参考に、感染防止対策の徹底を再度確認してください。
    - また、テレワークや時差出勤等に協力してください。
  - ✓症状は無いが、感染に不安を感じる方（熊本県民に限る）については、熊本県が実施している無料PCR等検査を受検していただくようお願いいたします。